

稼ぐ現場作業サービス「ROBO-HI DANCE」の提供を開始 ～現場環境と人の業務 DX を推進し、生産性の向上と人件費・教育コストの削減を実現～

ROBO-HI 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:谷口 恒)は、人を介さず現場を完全に自律運用する AOS (Autonomous Operating System) 「ROBO-HI® OS (ロボハイ オーエス)」を活用し、現場環境と人の業務をデジタル変革 (DX) する新サービス「ROBO-HI® DANCE」の提供を開始いたします。

本サービスでは、一足飛びの無人化ではなく、確実なステップを踏むことで現場の収益性を高める段階的導入を提唱します。



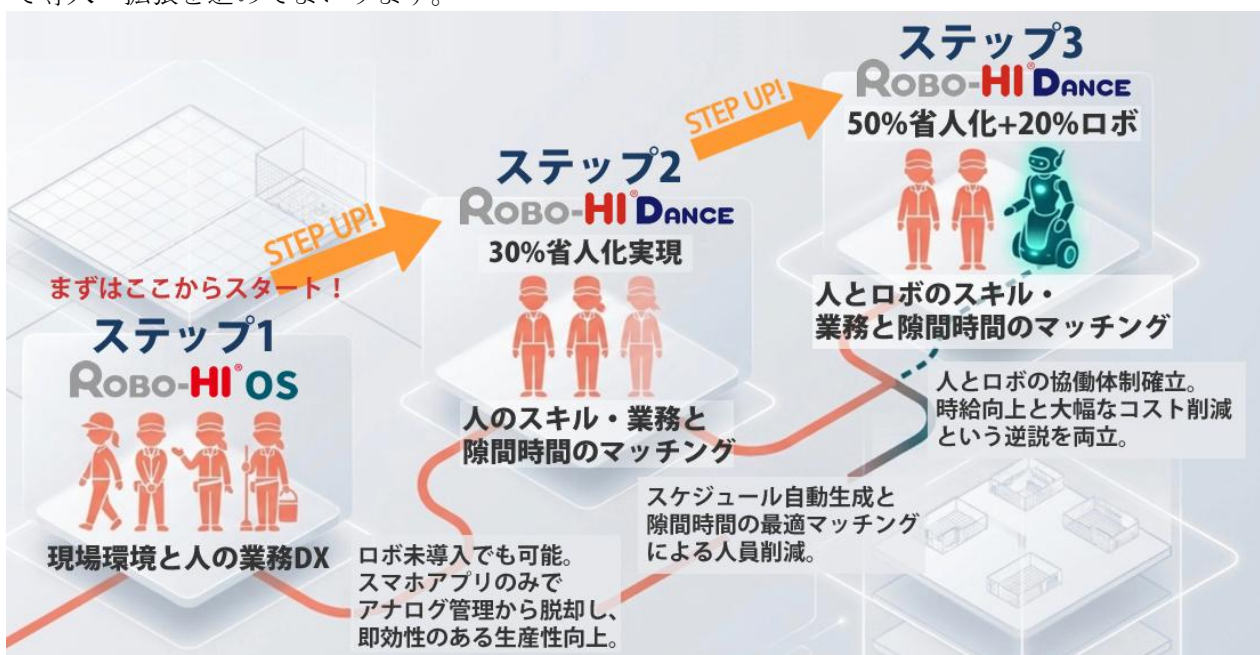
“人とロボの協働” ROBO-HI DANCE イメージ

ROBO-HI DANCE Web ページ: <https://www.rob-hi.jp/robo-hi/robo-hi-dance>

【「ROBO-HI DANCE」が描く 3 ステップの進化ロードマップ】

「ROBO-HI DANCE」はフィールドサービスにおける人・ロボットのリソースを最適なタスクへと自律的に分配する AOS を備えた新サービスです。

本サービスは、現場の状況に合わせて「現場・人の DX」から「ロボリソースの統合」まで、3 ステップで導入・拡張を進めてまいります。



ROBO-HI DANCE 3 ステップのイメージ

【ステップ 1:[ROBO-HI OS] 現場環境と人の業務 DX】

ロボ導入の基盤として、現場環境および人の業務をデジタル化し、能力を拡張させる基盤を構築します。

<現場環境 DX:建物三次元地図化と業務実装>

- 三次元空間のデジタル化:対象施設を三次元地図化し、数キロ圏内の業務・派遣エリアをデジタル空間上で管理します。
- 制御環境の整備:具体的な業務タスクを地図上に実装。位置情報に基づき、システムが人や設備(エレベーター、シャッター等)を最適制御できる環境を整えます。

<人の DX:スマートフォン・タブレットによる能力拡張>

- スキルの可視化:スタッフのスキルセットを登録し、適材適所へのアサインを自動実行します。
- EYECAN※コア機能によるサポート:「AR ナビ(最短ルート誘導)」、「スキャン(異常検知)」、「アクション(AR 作業指示)」の3機能でスタッフをサポートします。

※EYECAN Web ページ: <https://www.rob-hi.jp/rob-hi/eyecan>

- モチベーション向上:評価制度やゲーミフィケーションを導入し、生産性向上とスタッフの意欲向上を両立させます。

【ステップ 2:[ROBO-HI DANCE] 人のスキル・業務と隙間時間のマッチング】

デジタル化された環境を基盤に、人的リソースを最適化し生産性を向上します。

- 隙間時間の最適マッチング:省人化によって生まれた余剰リソースを、マッチングエンジンを通じて他社・他業種へ提供するなど、新たな収益機会を創出します。
- エリア連携の強化:自店舗の枠を超え、近隣店舗間でのスタッフのヘルプや業務委託を最適化します。

第2ステップの効果として、30%の省人化を見込んでおります。

【ステップ 3:[ROBO-HI DANCE] 人とロボのスキル・業務と隙間時間のマッチング】

DX化されたサービス領域にロボが完全に協調し、さらなる省人化と高効率な現場運用を実現します。

- ハイブリッド運用体制:ロボの業務を地図に実装。重量物の搬送や床清掃はロボ、精密な作業や対人接客は人間と、適性に応じてシステムが自律的に業務を割り当てます。
- 物理制御の融合:ロボがセキュリティゲート前でスタックした際のスタッフへの自動通知など、現場を止めないシームレスなボタンタッチを実現します。

第3ステップまでの効果として、50%の省人化と20%のロボ活用、多言語化やチュートリアル等の教育費70%削減を見込んでおります。

【お問い合わせ】

まずはステップ1の「現場・人のDX化」から始めてみませんか。下記フォームよりご連絡ください。

ROBO-HI 株式会社 営業本部

お問い合わせフォーム: https://www.rob-hi.jp/contact/other_contact

【ROBO-HI 株式会社】

「ロボを社会インフラにする」というビジョンのもと、創業以来培ってきた幅広いロボ技術・遠隔監視/制御技術を基に、世界中のロボが最大限の性能を発揮できるマルチベンダー・ロボプラットフォーム『ROBO-HI® OS(ロボハイ® オーエス)』をスマートシティ・スマートエアポート・スマートホスピタルへと全国展開しています。生活を豊かにするライフモビリティ『RakuRo®(ラクロ®)』、『DeliRo®(デリロ®)』、『PATORO®(パトロ®)』、空港や広い施設で活躍するインダストリアルモビリティ『RoboCar®(ロボカー®)』と、『ROBO-HI®』が連携によって省力化・省人化に貢献してまいります。

本社:東京都中央区晴海1-8-8 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーW棟14F

HP: <https://www.rob-hi.jp/>